

平成30年度第1回さぬき市総合計画審議会 会議要旨

- 1 日 時 平成30年6月25日（月）13時00分～15時00分
- 2 場 所 さぬき市役所3階301会議室
- 3 出席者 【委員】石塚委員 大塚委員 岡林委員 尾崎委員 田中委員 中澤委員
西尾委員 三井委員 吉田委員 吉田委員 頼富委員
【市】向井総務部長 総務部政策課 谷課長 大生課長補佐 多田副主幹
岡主事
【委託業者】(株) ジャパンインターナショナル総合研究所
【傍聴】2名
- 4 会議次第 1 開会
2 会長挨拶
3 議題
(1) 市民アンケート調査結果について
(2) 第2次さぬき市総合計画中期基本計画策定スケジュールについて
(3) 施策評価シートについて
(4) 市民ワークショップの開催について
4 その他
5 閉会
- 5 配布資料 資料1 さぬき市総合計画のためのアンケート調査【結果報告書 概要版】
資料2 第2次さぬき市総合計画中期基本計画策定スケジュール
資料3 施策評価シート
資料4 市民ワークショップ開催要項（案）

6 会議内容

発言者	意見概要
事務局	(13:00) 皆さま、本日はご多忙にもかかわらず、ご出席いただきありがとうございます。会議に先立ち、4月に人事異動があり、事務局の担当が代わっていますので、継続の者も含めて自己紹介をさせていただきます。 <職員自己紹介>
事務局	なお、「第2次さぬき市総合計画中期基本計画」の策定にあたり、支援業務を(株)ジャパンインターナショナル総合研究所に委託しており、今後「審議会」や「ワークショップ」など、一緒に進めながら支援をしていただこうと思っていますので、よろしくをお願いします。
ジャパン総研	<(株) ジャパンインターナショナル総合研究所 挨拶>
事務局	それでは、ただいまから平成30年度第1回さぬき市総合計画審議会を開会いたします。早速ではございますが、会長からご挨拶いただき、引き続き審議会の規定に基づき、議事の進行をお願いします。

会長	<p><会長挨拶> それでは、議事を進めます。 本日の会議ですが、15時頃を目途に終了したいと考えておりますので、ご協力をお願いします。 では、議題1「市民アンケート調査結果」について事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p><事務局説明></p>
会長	<p>ただ今の説明に関し、ご質問、ご意見がありましたらお願いします。</p>
委員	<p>さぬき市は、20～30代の定着率が低いのが課題です。この年代の方がどれほどの希望や期待を持っているかがアンケートでは分かりにくく、その部分をもう少し教えていただきたい。今出ているパーセントは全て、50～70代の回答(安心・安全・健康など)に引っ張られていて、核心の部分がぼやけていると思います。</p>
事務局	<p>今回の回答は、半数以上が60代以上の方が回答されているので、おっしゃる通りその年代の方の意見が多いと思っています。 今後、施策をしていかなければならない年代のニーズは、「年齢別の結果」やこの後の議題である「市民ワークショップ」などで若い方の意見を聞きたいと思っています。</p>
委員	<p>分かりました。</p>
会長	<p>調査対象者(2,500件)の「年齢別の抽出割合」は、分かりますか。</p>
事務局	<p>無作為抽出なので、統計的には市内人口の年齢構成に比例した状況でアンケート用紙は配られたと思っています。</p>
会長	<p>抽出時の「年齢別の割合」が「回答の割合」と似ているかどうか。多少の分布はあるが、統計的には年齢ごとに同じ人数くらいで配布していないと、全体の結論や傾向を見たときに、データが抜ける可能性があるのではないかと思います。</p>
事務局	<p>年代別の回収率ですか。</p>
会長	<p>そうです。平均して同じであれば、人口分布に比例した回答の抽出をしているとなるが、違うのであれば、その点を頭に入れておかなければいけない。</p>
事務局	<p>すぐにお見せできるデータがありませんが、抽出した時の割合が分かれば、比較できるということですね。</p>
会長	<p>年齢分布に即した抽出をしているかどうかということです。</p>
事務局	<p>一般論から言うと、高齢者の割合が高いので、単純に抽出した際にそういった年代の割合が多くなるのは仕方のないところではあります。更に、若くなればなるほど、若い方のアンケートの回収率は、どのアンケートでも低くなっています。仕事や家の事が忙しく、結果的には郵送方式のアンケートでは、どうしても意見を拾いにくいというデメリットがあります。</p>

会長	<p>そうなると、満足度や重要度、要望の需要など、アンケートの結果だけでは鵜呑みにできない。若い方はそう思っていないかもしれない。年齢の高い方の要望が鮮明に出ている。若い人の意見をどうやって取り入れるかですね。</p>
会長	<p>他にないかありませんか。</p>
会長	<p>【概要版】P9の満足度と重要度の相関（優先度）散布図ですが、こういった趣旨でこの図を作られたか、お伺いしたい。</p>
事務局	<p>散布図の左上が「重要度が高いが、満足度が低い」項目となっています。市民の方が、「これは大事だと考えているが、現状はまだ満足していない」という視点でグラフの分析をしており、それを優先度とさせていただきました。前回のアンケート調査でも同様の分析方法をしており、比較をするためにも同じ方法で今回も作りました。いろいろな見方はあるかと思いますが、重要度と満足度で見させていただきました。</p>
会長	<p>重要度と満足度はマッチしているべきなのに、ばらばらであるから、重要度と満足度を相関的に考えるのは、このデータだと難しいと思います。</p> <p>もう一つ、【結果報告書】P12～13「まちの各環境に関する満足度」についてですが、項目が前回と全く同じでなく、今回は2項目少ない。どのようにして絞られたかお伺いしたい。</p>
事務局	<p>今回のアンケート項目は、「第2次前期基本計画」の項目です。前回の項目は「第1次後期基本計画」の「基本目標」に沿った項目で伺っています。計画自体が変わっていますので、単純に比較はできませんが、分野として「安心、安全、消防」という比較できるところでさせていただいています。</p>
会長	<p>他にありませんか。</p>
委員	<p>アンケートの回収率が45.8%と約半数ですが、参考のために、他の市町村でアンケートを取った場合の回収率はどれくらいでしょうか。さぬき市は低い方ですか。</p>
事務局	<p>大体4割を超えれば集まったほうだと思います。</p>
委員	<p>4割を超えればアンケートの回答は尊重すべきですか。</p> <p>回収率が低いということは、それだけ皆さんの関心がないということになります。他の市町村では、6～7割集まりますか。</p>
事務局	<p>そこまでいくところはありません。</p>
委員	<p>分かりました。</p>
事務局	<p>4年前のアンケート調査では、今回と同じ2,500件配布し、1,048件の回収があり、41.9%の回収率でした。今回は、やや上回っています。</p>
会長	<p>他にありませんか。</p>

委員	<p>地区ごとの統計も取られていると思うのですが、こちらの観点から見たときに特に現れた特徴はありますか。</p>
事務局	<p>【概要版】では地区別のグラフは記載していませんが、【結果報告書】には、地区ごとの結果を載せています。P 1 1以降、それぞれの施策の満足度やP 1 9の重要度に関しては、地区ごとに特徴が出ています。</p> <p>P 1 4の「津田地区」の施策の満足度をご覧ください。比較すると、「2.安全、安心、快適に暮らせるまち」の中の「墓地・斎場の整備」は、市全体と比べると津田地区は高いことがわかります。上の解説文にも、市全体と比較して、どれが高く、どれが低くなっているかを記載しています。</p> <p>P 1 5の「大川地区」は、「公共交通網の充実」が市全体と比較すると低く、地域性が見えると思います。</p> <p>P 1 6の「志度地区」は、「地域医療の充実」が市全体と比較して満足度が低いという結果が見えています。市全体ではプラスになっていますが、「志度地区」ではマイナスとなっています。</p> <p>P 1 7の「寒川地区」は、「雇用の場の確保と労働環境の充実」の満足度が低くなっています。</p> <p>P 1 8の「長尾地区」は、「観光の振興」の満足度が低くなっています。</p> <p>市全体との比較となりますが、それぞれ地区ごとに重きを置いているところが違って、地区別の結果もしっかり踏まえていきたいと思っています。</p>
会長	<p>他にございませんか。</p> <p>それでは、これらのアンケート結果を基に「中期基本計画」のたたき台を作る作業に入るわけですが、アンケート結果から出た重点的に取り組む分野等を踏まえ、「中期基本計画（案）」を作成していくようになります。</p> <p>次の議題は、そのための「第2次さぬき市総合計画中期基本計画策定スケジュールについて」事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p><事務局説明></p> <p>スケジュールで不明な点がありましたらご意見いただきたいと思います。</p>
会長	<p>第2回の審議会には、骨子案が出るということですが、ぜひ入れてほしいというものがあれば、ここで皆さんにお伺いしたいと思います。また、現状を把握するため、議題3「施策評価シート」に、今までの「総合的な満足度がどうか」や、「数値目標がどうか」というものを記載していますので、そちらの説明も事務局からお願いします。</p>
事務局	<p><事務局説明></p>
会長	<p>項目ごとに「数値目標」があるのですか。前期行ったことによってどれだけ改善されたかわかると思うのですが、削減率や改善率や利用者数など、125項目の概要が出るわけですね。</p>
事務局	<p>はい。それぞれの「主要施策」にそれぞれの指標があり、指標が達成できたら主要施策が進んでいくだろうという「数値目標」があります。</p>
会長	<p>その指標について、引き続き「数値目標」があると考えればいいですね。</p>

事務局	はい。
会長	それを見れば理解できるということですね。
委員	この数字はどなたが決めるのですか。
事務局	各担当課です。 進捗状況については、各課に先んじてお願いしていて、今取りまとめ中です。
会長	他に質問はありますか。 各課ヒアリング時に各委員の意見を反映できたら審議会の意見も反映されたということになると思います。趣旨としては、「中期基本計画」の答申に反映できるものがあればと考えています。
委員	もう一つ、さぬき市は何を重点的にやりたいか、他と違うところを何か見出さないと他市町に遅れを取ると思うので、それを踏まえて各委員の率直な意見をいただきたいと思います。
委員	<p>例えば「防災」について、50億くらいかけて防災を整えるとなると、財政の健全化が狂ってくる。要するに全部をよーいドンで応分に満足するものにしようとしても、ほぼほぼ満足しないで終わる。これを行ったらこういう成果が出て、商売が豊かになり、そうすると税収が増え、次にこれをしよう。空き家対策にもお金を振り分けよう。コミュニティバスも昼間以外で多く行き来できるようになると、お年寄りの足の不便性が整うから、温泉施設の利用度が上がるなど、施策とはこういうものだと思う。</p> <p>施策の順番や各部局が連携する中で、政策課の位置付けは非常に大事だと思う。それぞれの部署の目標を管理、整理してまとめるだけでなく、「これは1番に行くからこれは待ってください、これとこれが成り立ってから行ってください。」や「1年目から予算を付けて目標を立てるべきでない。あなたの部署は3年目からです。」などとしてほしい。予算の重点施策の中で、どのように割り振っていくかということをししないと、結果的に効果が今一出ていない気がする。アンケートは重要だし、そこに向けて施策を打つことは重要だけど、大きい大局としてどうあるべきかが大事である。また、「雇用」となると、事業関係を整えるため、外部から企業を誘致するが、全国でも争奪戦であるわけだから、メリットが必要である。固定資産税を何年間か完全に免除するという財政論が成り立つのか。成り立てば、人が増え、子どもの数も増えるかもしれないし、その結果として商工業も潤い、財政も少しは豊かになるかもしれない。今のままでは流れがわからない。決められた予算の中で全部の部局がそれなりのことをするという予算割り振りでいくので、「定住促進」を行うために、項目を掲げるが、そういうことは全国津々浦々同じことを行っている。何か1つでも定住したいと思うものが必要である。また、これだけだと、それ以外は何の補助も得られないのかという議論になるので、その次はあなたたちです、またその次はあなたたちですというストーリーを作る必要があると思います。そうでないと財政も厳しくなってくる。全部に満遍なく平均にというのは到底無理である。割り当てられない人が不満にならないように、こうなったら、みなさんのところにも恩恵があるというシナリオを作る必要がある。全体を政策課でまとめ、やるべき項目を網羅しないといけないが、そのあたりの交通整理のようなものをして、第2次計画策定に望んでいただきたい。審議会ではそれぞれこのテーマをやるべきであるという議論をし、後は政策課で取りまとめてもらう。財政の健全化ということがアンケートにもあったが、縛りがある以上、借金してまでどんどん何でもやる</p>

<p>会長</p>	<p>という話にはならない。例えば、5つの重点的項目に取り組みながら、その波及効果を待つというシナリオをぜひ作る必要があると思うし、考え方としてはぜひそうあってほしい。</p> <p>付け加えると、審議会の委員さんは、さぬき市の代表として、「さぬき市は他の市とどこが違うのか」ということを考えてほしい。他と違うところ、さぬき市ならではのものがあつたら、政策の中にどんどん入れていく。</p> <p>お金がかかるもの、かからないものもあるが、仕分けをすればいいと思うのですが、どうでしょうか。</p>
<p>委員</p>	<p>例えば「移住促進」を全国津々浦々「3千万円くらいかけて広報をし、3世帯移住してきた」というのと、会長がおっしゃるように、「小・中・高・大と一貫教育で、AIの技術者を育てる、語学を教育する」となると、移住者はおそらく3世代では済まないと思う。ピンポイントでするとなると、「調理を習いたいと思っている僕らはどうなるのですか」となる。そこが順番である。最初のインパクトで人が集まると、次は「調理の育成をしましょう」や、次は「製造業の技術者を育成しましょう」と、全部万遍なくすると中途半端になる。全部するとなると料理の先生、製造技術の先生、AIの先生、語学の先生を置く必要があり、語学も中国語、英語、スペイン語の先生となると、なにをしているかわからなくなる。後は行政が腹を括らなければいけない。大学、高校、中学校、小学校で、一般的な教育もするが、一貫でこういった教育をしますとなると、こういう人材ができるので、その方に定住していただけるようにする。今の段階で雇用の場が足りないと言われるとつらい。今は雇用の場はあるが、人が集まっていない。見合う雇用の場があるかないかという議論になる。どういう事業所を引っ張ってくるかということになるかもしれない。</p> <p>徳島県の山間部でネット環境を整えてIT業者が集まった。男木島で5世帯、6世帯が移住して何年ぶりに赤ちゃんが生まれ、その後保育園が始まった。小さなまちだが、もとはなにかと言えばネット環境を整えたこと。ネット繋がりや、ある方が移住し、「ここでも仕事ができる」と仲間を呼び込んで、5組、6組と世帯移住が始まった。あれは香川県として政策をしているのだと思うが、そういう舵のきり方もある。私は坂出に住んでいるが、ニュータウンで9班あり、道が8本くらいある。一度に舗装するとなると予算が足りない。1年に2本ずつくらいしか舗装できないとなると「うちの班から舗装してほしい」ともめるわけです。4年たてば全部舗装できるが、みんなが一度にしてほしいとなると4分の1ずつ公平に舗装しますか、そんな中途半端な工事をしますかという話になる。住民とのコンサルタントも必用になってくるだろうし、その時には、こういうシナリオですよというものを示さないと住民側は納得しない。これが事務方の腕の見せどころではないかと思えます。会長がおっしゃるように十分特色は出せると思えます。やっていないというか、やることに向き合っていない。今ある地元の資源にどうつなげれば目標を達成できるかだと思ふ。思い切ったことをしなければいけないタイミングに来ていると思えます。</p>
<p>会長</p>	<p>さぬき市にはこれがあるというものがあれば、意見いただきたい。最近であれば、「平賀源内」を志度駅でPRして、少しいきわたりつつあるのではと思います。</p>
<p>委員</p>	<p>先日弁護士の先生の話をお聞きしました。「周りを見渡せば、世界中が、日本が、私たちの地域が、『高齢化と人口減少』で行き詰まっている。その中であなたたちはいかに生き生きと生きていきますか。」という話であった。「連携が一番大事。国も</p>

<p>会長</p>	<p>県も私たちのさぬき市も、縦のつながり、横のつながりはあるが、ぐるっとまわったつながりが全然ない。それでは高齢者は生きられない。」と言っていた。例えば本庁に「医療関係」で行くと「長尾に行ってください」や、「教育関係」だと「津田に行ってください」と言われる。高齢者は「バスを乗り継いでは行けない。」もう少し連携のある行政をしたらどうでしょうか。それが基本になるのではないのでしょうか。</p> <p>「香川県の人は本音とたてまえが違い、きれいごとで表面を済まします。」と言っていた。この文章の報告書を読んで、同じことを思いました。オープンにコミュニケーションが取れる、おおらかなさぬき市にしてはどうかと思います。私のまわりも、子どもがどんどん減り、高齢者が増えている。高齢者はなかなか家から出ようとしないが、いかに外に連れ出すかが基本になると思います。お金をかけることばかりでなく、地域の人の心の触れ合いが大事だと思います。</p> <p>つながりが大事だということですね。私もそれについて非常に危惧しています。国が過疎化で潰れるのではないかと。私は、それは絶対にはないと思っています。なぜかという、さぬき市と都会では、どこが違うかという「自然」がある。それともう一つ大事なことは、都会はあと3年、5年たつと「介護」がパンクする。それは地方がするべきだという話もある。施設を誘致して、「さぬき市は介護されない人はいないくらいだ」となればいい。人口過疎化をひっくり返さなければいけない。連携して、心の通い合う行政ということですね。</p> <p>他になにかありませんか。</p>
<p>委員</p>	<p>テアトロン、野球場、サッカー場等の公共施設の使用について、使いたいときにリーズナブルな値段で利用できているが、市民全員が使うわけではないので、利用者にもう少し負担していただく。野球場がいつもきれいに使えているのは、草刈りなどの整備ができていますからです。それにはお金がかかっているの、利用料をあと千円、あと3千円上げるという議論はあってもいいと思います。粗大ごみの回収も、持ち込みと回収があり、回収料金を見直してはどうか。どの市民サービスを快適にするために財源を使うか。特定の方が利用するサービスについては、もう少し単価を上げさせていただく。それによって浮いた財源が、また違うサービスの充実につながる。一度見直しをかけても、十分市民ベースでの理解を得られると思います。行政施設の利用料が一律に安いと使用者はありがたいが、それ以上にメンテナンス費用がかかっている、施設を置くことだけで市の財政は苦しくなる。利用者には、サービスに見合った料金を払っていただき、使ってもらおう。行政サービスの洗い直しをしてみる。商工会も、市の補助金が減少すると、商工会の中でのいろいろなサービスの単価を上げざるを得ない。両立できない問題なので、市民の皆さんに理解をいただくということが、目標設定の中にあってもいいと思います。</p>
<p>会長</p>	<p>市内の施設利用料等をもう一度見直し、市民スタンダードで明確にするということですね。それともう一つ、市内には幼稚園から大学まであるのだから、一貫教育の筋道をたてるといいですね。</p>
<p>委員</p>	<p>来年5月に分庁舎ができると、市の機構改革があると思います。それに伴い、今ある（津田・大川・長尾）支所は出張所になるということですが、出張所になれば、人員配置の縮小、教育委員会は石田小学校跡に移転ということになるのでしょうか。また、出張所になると人員も縮小し、毎日開設せず週2日や3日となると、津田・大川・長尾は行政サービスの低下となりますが、それが「中期基本計画」にある程度加味されなければいけないのではないのでしょうか。</p>

事務局	<p>総合計画の基本構想は、平成27年度～12年間で大きく変わることはなく、今回31年度からの4年間で全体の中でどうするか、ご意見をいただきたいというのが1点。分庁舎ができることに伴って、「支所・出張所の見直し」を議会や自治会の連合会にご意見を伺っている最中で、細かいところは決定していませんが、この計画の中で言いますと「基本目標VI」の「公共施設マネジメントの推進」に位置づけられており、「庁舎の再編整備」という項目があがっています。4年前に立てた計画ですが、その後、いろいろなことが進み、新たな展開が出てきています。庁舎に限らず各分野の事業でも、いろいろなことが進んでいますので、今回そういったことも踏まえて、次の4年間を見通していくということになるかと思えます。個別の部分については、ご紹介しながら次の計画を立てていくようになります。</p>
会長	<p>「前期」、「中期」、「後期」という大きな4年間の縛りの中で、行政の再編成もあると考えたらいいわけですか。</p>
事務局	<p>それぞれの「サービスの提供のあり方」だったり、行政の中の「機構のあり方」は普段から見直しをしていく必要があると思いますが、今の「基本計画」の中でも主要施策の柱として捉えていますので、今後もその流れはあると思います。今回、このタイミングで計画を見直しますので、当然現状も踏まえて、次の4年間を見通すということになると思います。</p>
会長	<p>行政では答申を生かし、組み入れられた庁舎の問題など、やらざるを得ないということになるわけですか。</p>
事務局	<p>「総合計画」は色々な計画の中の最上位と捉えていますので、そういった方向性を議論いただき、項目に入れるかどうか。個別の施策については、個別の計画があります。教育であれば「教育振興基本計画」、行政の改革であれば「行政改革実施計画」が別にあります。「総合計画」という位置づけの中で、大きな方向性を議論いただけたらと思います。</p>
委員	<p>「総合計画」が、ランク的には、1番上になるのですか。</p>
事務局	<p>市の定める計画としては上位計画に位置付けられ、各分野の計画は、それに基づいて動くのが通常の形となります。ただ、計画期間が少しずつれたりしていますので、そこは調整が必要となります。</p>
委員	<p>わかりました。</p>
委員	<p>行革サイドの資料はここにはないし、アンケートでは分かりづらい。どういうふうにこの委員会で提言すべきなのか。</p>
事務局	<p>個別の基本施策の中には入っているのですが、例えばこの議論の中で、行政改革をこの4年間の重点プロジェクトとして進めていこうということになれば、今現在の「基本計画」の中ですと「人口減少対策プロジェクト」だとか「お接待の心推進プロジェクト」の二つが重点プロジェクトとなっているのですが、そこにプロジェクトとして入れていくことは可能ですので、踏まえた上でのご意見をいただきたい。</p>

委員	<p>行政改革は人を減らして云々ということではない。決められた頭数で何をするのか、どういうふうにするのか。やっている業務が無駄とは思わないし、市民サービスという大義のもとに人が十分配置されている。源内記念館も同じです。平日誰も来なくても、朝から晩まで受付にいないてはいけない。無駄なことをしているわけではなく、留守番をしている。これを当たり前として対応するのか、もっと他にやり方があるのではないかとみるのかによって、行革はいくらでも進むと思います。もう少し市民の皆さんとコンセンサスをとって、どこまでできるのか。「最低ここまでではしてもらわないと、市民税を納めているのに、そこまで我慢しなくてはいけないのか」という議論がどのへんなのかということです。さけては通れない議論であると思います。</p>
会長	<p>他にありますか。</p>
委員	<p>若い人の意見をどこで拾うかという点についてですが、今の若い人たちは、自分がどこに住んでいるか、あまり関係ないと思っているのではないのでしょうか。私自身大学が高松なので、1日の内半日はさぬき市にいないのですが、電車の時間が面倒だと思うくらいで、それほど不便は感じていない。なぜさぬき市に住むかということを考えていったほうがいいのではないのでしょうか。若者の政治参加がいわれる中、さぬき市はこういった場で意見を言いやすいところなのではないかと思います。同じ大学の中で、こういった行政計画に関わったことがある人は、少なくともわたしの知人の中にはいません。機会を作っているかどうか大きいのだと思います。機会を知っているかどうかという点ですが、さぬき市も広報をしていると思うのですが、みんな見ていないと思います。私がこの委員をすることになったきっかけは、個人的にお声掛けいただいたからです。PRの方法を考えていくべきなのではと思います。</p>
会長	<p>他にありますでしょうか。</p>
事務局	<p>ないようであれば、次の議題4「市民ワークショップの開催」について、今の意見を踏まえて議論いただきたい。それでは、事務局から説明お願いします。</p>
事務局	<p><事務局説明></p>
委員	<p>一般公募はどのように公募をかけるのですか。</p>
事務局	<p>さぬき市の「ホームページ」やケーブルテレビの「文字放送」、「音声告知放送」を予定しています。</p>
委員	<p>ほとんどの若い人は、見ないのではないかと思います。もし、広報を見て30名集まったとしても、その30名は積極的なかたばかりで、サイレントマジョリティーの意見は多分反映されない。それをどうやって解決するか、「ワークショップ」とは別に考えるべきなのかなと思います。</p>
事務局	<p>テーマについてですが、わざわざ若い人に来てほしいということは、「数十年後の政治決定であったり、市の「行政内容決定」、あるいは、ここでも挙がっている「人口減少」で、マイナスをいかにゼロに留めるかという2方向だと思います。どちらの方向なのか、最初に明確にしておくべきだと思います。</p>
委員	<p>1つくらいネガティブなものも必要だと思います。どこまで負担できるか。意見交換の場なので、夢を追う話ばかりでなく、現実的な話のテーマがあってもいいと</p>

委員 事務局	<p>思います。</p> <p>「市の不満聞きますよ」のような。</p> <p>当然そういった意見も中にはあると思います。</p>
事務局	<p>事務局側の希望としては、できるだけ建設的な、前向きな意見をいただきたい。「この道が暗いから街灯をつけてほしい」など、行政に対する要望の場ではなく、「将来的に自分たちのまちをどうしていこうか」という、前向きな意見を聞きたい。具体的な方法としては、グループ分けをして、ワールドカフェ方式という形で、意見を出しやすい雰囲気の中、いろいろなことを話し合っただこうと考えています。それを踏まえて、テーマを考えていただきたい。</p>
委員 事務局	<p>グループ割をする時に、リードしてくれる人は入るのですか。</p> <p>基本的に、ファシリテーターと呼ばれる方は入らない予定です。各テーブルで、自由に語っていただくのが市の目的ですので、誘導されずに、思っていることを言える場にしたいと考えています。</p>
委員	<p>リードしてくれる人が入るのであれば、テーマを掲げなくても、「さぬき市の魅力はどんなところですか」や「どこを直したらいいと思いますか」など、引っ張ってくれば、素直な意見が出てくるのではないですか。テーマを決めたら、「面倒だな。参加をやめよう。」ということにならないでしょうか。</p>
事務局	<p>全体の進行はこちらでさせていただくのですが、テーブルごとにリードする人が入るということはありません。ただ、「今日はこういったテーマで話していただきます」といった説明は致します。</p>
事務局	<p>4年前は、委員さんが中に入って、誘導や色々な意見の吸出しがあったと思いますが、今回はなしでいこうと思っています。</p>
会長	<p>他にこれだという意見はありますか。</p>
委員	<p>「農業施策で休耕地をどうするか」など、テーマによってですか、5年くらいのスケジュールでなにかをする。1年目、2年目、3年目では全然効果はないが、5年目には出てくるといった、農業施策のように時間がかかるものがあったらいいのではないのでしょうか。</p>
委員	<p>若者の「ワークショップ」は、1つの試みで大変いいと思うのですが、問題は、意見を聞いた時の「聞く耳」だと思います。先程のサイエントマジョリティーの声を聞くということに繋がると思います。必ずしも、アンケートや多数決で決まったことが、すばらしい実現性があるということにはならない。キラッと光る意見は、意外と少数派の意見の中にある場合がある。もう一つ「ワークショップ」がガス抜きにならないように、できれば「若者プロジェクト」のような形で、未来の施策に反映できるようなことが1つでもあればいいと思います。</p>
会長	<p>「ワークショップ」が無駄になってはいけないということですね。それと、先程の話を集約して、「中期計画」の中に盛り込んでほしいという4点</p>

<p>事務局</p> <p>事務局</p> <p>事務局</p> <p>会長</p>	<p>ですが、1つは「行政サービス」、特に高齢者に対するサービスをどう考えるか。2つ目は、幼稚園から大学まであるさぬき市で「一貫教育」をどう考えるか。3つ目は、「公共施設」の利用頻度を上げて、活性化をはかる施策はなにかないか。4つ目は、「さぬき市のPR活動」をどうするのか。これは絶対にPRするとか、4年間ですのために1年目はこうするなどの活動の仕方。集約するとこの4点になると思います。次回の会議では、皆さんの意見を集約した形で、今後どのように施策をするか、今までの結果とそれに対する数値目標以外で、未来志向を持った考え方を、行政側からもケアしてもらいたいと思います。</p> <p>他に事務局からなにかありますか。</p> <p>「ワークショップ」のテーマは、出していただいたご意見で、ある程度決めさせていただきます。</p> <p>チラシなどできましたら、送らせていただきます。</p> <p><次回会議日程調整></p> <p>以上で、第1回さぬき市総合計画審議会を閉会します。(15:00)</p>
--	--